

奈義町の教育施策を体験しよう！

「奈義町菜の花教育フェスティバル」開催

4月17日(日)「奈義町菜の花教育フェスティバル」を文化センターで開催しました。菜の花が見頃を迎えるこの日、俳優で自身も4人のお子さんを持つ杉浦太陽さんを奈義町子育て応援大使に委嘱し、華々しい幕開けとなりました。

メインイベントとして、岡山大学教育推進機構 中山芳一准教授に「これからの教育 キーワードは非認知能力」と題してご講演いただき、その後、杉浦さんとのスペシャル対談も行われました。非認知能力とは、意欲や自信、自制心や思いやりなどの目に見えにくい能力のことで数値化できない能力ですが、この能力こそ認知能力(知識・技能)の獲得や向上を支え、子どもの成長につながると語られました。

杉浦さんも、ご自身の好きなことを子ども達にも経験させることで、そこから子どもの興味を持った分野を深めていく、褒めて子どもたちの能力を伸ばす子育て術など、日常のご家族とのやりとりを交えながら楽しいトークを聞かせてくださいました。



▲ 左：杉浦太陽さん、右：中山芳一准教授

また会場では、こども歌舞伎やこども太鼓、幼児コーラスなどのステージ披露が行われ、コロナ禍で発表の機会を失っていた子どもたちの生き生きとした姿が見受けられました。

その他、各種団体の活動紹介、今学校で行われている一人一台端末による授業(GIGAスクール)体験など、盛りだくさんのイベントとなりました。



▲ こども太鼓の力強い演奏



▲ こども歌舞伎演者の化粧風景



▲ ストライダー体験コーナー



▲ 電子黒板ミライタッチ

二年ぶりのフェスティバル開催で、一般の方や保護者の方の喜ぶ顔も見られ、奈義町の教育推進の一体感を感じられました。

今年度も教職員、教育委員会職員が一丸となって幼小中一貫教育を推進していきます。

学校給食費の約半額を町が補助します！

給食費について、これまで小学校 18 円/食、中学校 23 円/食の補助を町が行っていましたが、今年度から小学校 135 円/食(実質負担 130 円/食)、中学校 155 円/食(実質負担 150 円/食)に拡充しました。

また、町特産の「なぎビーフ」や「黒豚」を、引き続き各学期に2回ずつ提供します。町内で採れた旬の食材を子どもたちに味わってもらえるよう、生産者を含めた献立検討会を定期的を開催するなど、地域ぐるみでの食育を推進していきます。

小中学校の教材等の費用も、昨年度に引き続き町が負担します。

〈予算額〉 小学校 3,718千円

中学校 3,950千円

▶ 町内産の旬の食材をふんだんに使用しています



▲ なぎビーフを使った献立



幼稚園児たち、初めてのタケノコ堀り体験☆

両幼稚園の年長児が小坂地区の竹林でタケノコ堀りをしました。これは、地域の方などとの交流、植物の生長観察、友だち同士の協力などを目的とする春のイベントで、学校運営協議会の方にご協力いただいています。

竹林の中はひんやりしていて、ワクワクしながらタケノコ探し。掘り方をレクチャーしてもらって、早速掘り始めますが固くて掘れません。協議会の方にも助けをもらい、タケノコを傷つけないように、一生懸命スコップで掘ると「とれたー!」と大喜び。みんな夢中になって掘りました。

また、いろんな草花や虫に触れたり、水車を作ってもらったり、園外ならではの自然体験を満喫しました。



▲ 見つけた！けど、なかなか難しい…



▼一緒にそーっと掘ろう

▶ 「さいじんこ」食べてみた！



タケノコ堀りを通して、友だちと協力したり励ましあうなどの姿が見られ、子どもたちの成長が感じられました。学校運営協議会の方やサポーターの方に教えてもらったことも、子どもたちにとってかけがえのない経験や思い出になったと思います。



紙面で伝えきれない教育委員会の取り組みを投稿しています!👉

●問い合わせ先 奈義町教育委員会 学事課 (文化センター内) [NACITOWN.KYOUIKU](https://www.nacitown.kyoudiku.jp)

Tel : 0868-36-4195 / E-mail : kyouiku@town.nagi.lg.jp

「奈義町教育委員会」更新中!

